

おらだの声

発行者：米沢市認知症地域支援推進員

高齢福祉課地域包括支援担当 ☎22-5111

9月21日は

世界アルツハイマーデー

「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。この期間を中心に、世界各地で認知症に関する啓発活動が行われています。米沢市でも下記の内容で認知症への理解を深めるための啓発を行います。

🐰 展示

認知症に関する展示や書籍の紹介を行います！

9月12日(月)～9月26日(月) イオン米沢店 1階 旧フードコートカウンター

9月 1日(木)～9月30日(金) ナセBA市立米沢図書館 特集コーナー



🐰 オレンジライトアップ

認知症支援の色“オレンジ”にライトアップします。

9月1日(木)～9月30日(金)

旧米沢高等工業学校本館(山形大学工学部内)

主催：公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部



読書の秋、文化の秋に認知症についてちょっと触れてみる等、認知症の理解を深め、正しい知識を学び、本人とその家族の応援者となり、認知症になっても安心して暮らせる米沢市について一緒に考えていきましょう。

認知症の人を、みんなで見守ろう

☆認知症を抱えている高齢者の方や支援者の方から、お話を伺いました。

Aさん：85歳、男性、ひとり暮らし、3年前に認知症と診断

生活の様子：デイケアに通いながら、朝・晩とホームヘルパーのサービスを利用中。

買い物は、近くのコンビニを利用、運動のためできるだけ歩くよう心掛けている。

趣味・特技：野球のTV観戦、カラオケ、ハーモニカ演奏 等

本人の希望：住み慣れた自宅で、地域の人に見守られながら生活したい。

心強かったこと：地域包括支援センターの職員が親身になって相談に乗ってくれたこと。



支援者Bさん：コンビニエンス・ストアの店員

支援の方法：同じ品物を購入することがあるため、本当に必要なか確認し、不要な品物の購入を防いでいる。

長年のお得意様。困ったときはその都度相談に

乗り、必要時県外在住の家族に連絡を入れている。

支援者Cさん：小規模多機能型居宅介護支援事業所の職員

支援の方法：信頼関係を保ちながら、本人の生活スタイルを尊重し、柔軟な対応を心掛けている。

<あとがき>現在の様子や見守り・支援についてお答え頂きました。ありがとうございました。

地域における見守りの輪が広がるよう、一緒に考えていきたいと思えます。

認知症カフェ

「おらだのカフェ」開催中！



6月17日（金）窪田コミュニティセンター、6月23日（木）塩井コミュニティセンターを会場に米沢市認知症地域支援推進員主催の認知症カフェ「おらだのカフェ」を開催しました。

当日は、ご本人やそのご家族、地域の民生委員さんにも参加していただき、認知症に関するお話や予防のための体操などを行いました。また、情報交換や日頃の悩みなどを話し合いながら、和やかな雰囲気の中開催することができました。

参加者からは「みんなで集まって話をする機会がないのでよかった。」「認知症について理解して地域で支えあえるようにしたい。」などの声が聞かれました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今後も継続的に開催していきたいと考えておりますので、どうぞお気軽にご参加いただき、認知症の方やそのご家族の方々の新たな居場所作りをみなさんでしていきましょう。

第3回 「おらだのカフェ」のご案内



日時：令和4年10月12日（水）10:00～11:30

会場：窪田コミュニティセンター ホール

日時：令和4年10月25日（火）10:00～11:30

会場：塩井コミュニティセンター ホール

※どなたでも、お気軽にご参加ください。

